

JA雲南から今年も カーブミラーを寄贈

秋の交通安全運動期間中の9月21日、JA雲南から町へ道路反射鏡(カーブミラー)17本を寄贈いただきました。

この日は、JA雲南の石原代表理事常務、三原信用共済部保全課長が役場仁多庁舎を訪れ、趣意書と目録を和泉副町長へ手渡しました。

今回寄贈を受けたカーブミラーは、各地区



からの要望、交通量などを踏まえ、緊急性の高いところから設置し、交通安全に活用していく考えです。

若槻一夫さんから 100万円の御寄付を いただきました



亀嵩出身で現在、広島市でご活躍中の若槻一夫さんから、昨年に続き「奥出雲町の高齢者福祉のために役立ててほしい」と100万円の寄付を頂きました。

今年5月には、ご当地演歌「忘れないで奥出雲」の歌碑を建立いただいたばかりですが、町では今回の寄付金を福祉基金に積み立て、町の福祉事業の発展のため大切に活用させていただきます。ありがとうございました。

スポーツの秋・祭りの秋!! 「奥出雲おろちフェスタ」開催

これまで旧町でそれぞれ行われていた仁多地域の「紅葉サイクリング」と横田地域の「おろちの祭り」を1つのイベントとした「奥出雲おろちフェスタ」が9月16日、横田駅前ロータリー特設ステージをメイン会場として開催されました。

今年4月に仁多、横田の両商工会が合併し、今後もこのイベントを継続し、奥出雲町の魅力を積極的に発信していこうと、商工会青年部が中心となって新たに企画を進めてきました。

「奥出雲たたら」の里サイクリングは、横田小学校を出発して、奥出雲のたたら歴史や文化、風土などを肌で感じながら走る約20kmのコースで、遠くは北陸や関西方面などから約130名のサイクリング愛好者が参加し、途中、抜刀体験・日本刀鍛錬の見学、ミニたたら製鉄体験、そば打ち体験を楽しみ秋の奥出雲路を満喫しました。

また、サイクリングがゴールする頃、横田小学校のマーチングバンドで「おろちフェスタ」の幕が開け、ステージでは様々な出し物や3人1組で8チームが参加した「おろちレース」(そばの早食い・丸太切り・クイズ)など多くのイベントが行われました。

時折小雨の降る中、会場にはたくさんの方が詰めかけ、夜遅くまで祭りを楽しんでいました。



▲ 祭りを盛り上げた「おろちレース」



▲ 秋の奥出雲路へスタート(サイクリング)



▲ 多くの方が祭りを楽しみました



▲ 横田小学生による「よさこい踊り」